



平成19年10月31日

各 位

会社名 株式会社 ニックス
代表者名 代表取締役社長 青木伸一
(JASDAQ・コード4243)
問合せ先 取締役管理本部長 先本孝志
電話 045-221-2001

平成19年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年9月期（平成18年10月1日～平成19年9月30日）の業績予想について、平成19年9月18日付当社「平成19年9月の業績見通しについて」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、このお知らせは現時点での見込みであり、決算発表につきましては11月20日（火）を予定しております。

1. 平成19年9月期 連結業績予想の修正等

通期（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	5,109	623	618	328
今回修正（B）	4,966	492	483	265
増減額（B-A）	△ 143	△ 131	△ 135	△ 63
増減率	△ 2.8%	△ 21.0%	△ 21.8%	△ 19.2%

2. 平成19年9月期 単独業績予想の修正等

通期（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	4,885	574	568	288
今回修正（B）	4,748	461	437	226
増減額（B-A）	△ 137	△ 113	△ 131	△ 62
増減率	△ 2.8%	△ 19.7%	△ 23.1%	△ 21.5%

3. 修正理由

売上高につきましては、当社の主力商品である工業用プラスチックファスナー主要販売先の事務機業界を中心とした営業活動に注力し期中を通じて実績を積み上げてまいりました。しかしながら、家電業界向けにおいてプロジェクトテレビ販売不振が大きく影響し、当社機構部品等の売上が低迷、8～9月で50百万円程度の予算比マイナスとなりました。また8月以降に見込んでいたカーエレクトロニクス生産設備関連の40百万円規模の大型案件が米国サブプライムローン等の影響により翌期以降に先送りとなるなど一部計画達成を阻害する要因もあり、単独で当初予想48億85百万円を下回る47億48百万円（当初予想比1億37百万円減、対前年比：45百万円増）を見込んでおります。また連結は単体と同様の要因により当初予想51億9百万円を下回る49億66百万円（当初予想比1億43百万円減、対前年比：61百万円増）となる見込です。

損益面では売上高減少の影響に加え、生産設備関連製品などの利益率の高い製品の売上が伸び悩んだことなどによる売上総利益率の低下が通年で1億円程度の減益要因となり、一部中国生産を含む大口新規開発品の立ち上げ費用が当初の想定を25百万円程度上回った点、その他、為替の影響、滞留在庫の処分等により、営業利益は単独で4億61百万円（当初予想比1億13百万円減、対前年比18百万円増）、同様の要因により連結は4億92百万円（当初予想比1億31百万円減、対前年比9百万円増）を見込みます。営業外損益を含む経常利益は単独で4億37百万円（当初予想比1億31百万円減、対前年比24百万円増）、連結は4億83百万円（当初予想比1億35百万円減、対前年比36百万円増）を見込んでおります。

当期純利益は上記の影響により、単独で2億26百万円（当初予想比62百万円減、対前年比20百万円減）、連結では2億65百万円（当初予想比63百万円減、対前年比10百万円減）となる見込であります。

4. ご参考：前期の実績（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	4, 9 0 5	4 8 3	4 4 7	2 7 5
単 独	4, 7 0 3	4 4 3	4 1 3	2 4 6

なお、配当金につきましては、当初の見通しに変更なく1株当たり10円を予定しております。

以上